

第28回危険物事故事例セミナー 【開催報告】

事故防止調査研修センター

当協会主催の「第28回危険物事故事例セミナー」が、去る2月23日に東京会場（AP市ヶ谷）、3月2日に大阪会場（大阪科学技術センター）において開催され、危険物行政に携わる消防職員や事業所において危険物の安全に係る業務に携わっている方など、両会場合わせて294名の方々にご参加いただきました。

今回のセミナーでは次の4題について、ご講演いただきました。

- 1) JXTGエネルギー株式会社 和歌山製油所 有森慎二 様から「潤滑油製造装置群火災」と題して、JXTGエネルギー株式会社 和歌山製油所（事故当時：東燃ゼネラル石油株式会社和歌山工場）において、2017年1月22日に発生した潤滑油製造装置群火災の概要と対策実施状況についてご紹介いただきました。この事故後、地元の市役所、消防本部、警察署と協議している事業所にて住民避難を伴うような重大事故発生時の対応方法についてもご紹介いただきました。
- 2) 富士市消防本部 予防課 諸星友康 様から、「印刷インキ用樹脂製造設備において発生した火災」と題して、固化させた印刷インキの原料を砕きながらホッパー内に落とし、フレコン詰めをしていた際に発生した火災の原因とその発生経緯等についてご紹介いただきました。
- 3) 稲敷広域消防本部 龍ヶ崎消防署 予防課 海老原達博 様から、「廃油再生燃料製造工場で発生した火災」と題して、汚染水の敷地外流出等の甚大な被害を生じさせた廃油再生燃料工場で発生した火災の事故原因や事故の背景についてご紹介いただきました。
- 4) 川崎市消防局 予防部危険物課 渡邊勉 様から、「屋外タンク貯蔵所付属ポンプからの出火及び付属配管からの流出事故」と題して、ボイラーへ重油を供給する準備のため、屋外タンク貯蔵所の配管に重油を張り込み循環させていたところ、ポンプから出火し、その翌日に配管から重油が流出していたのを発見した事例についてご紹介いただきました。

当協会では、これからも危険物の保安対策の推進に役立つセミナーを企画してまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますようお願いいたします。



セミナー風景（左：東京会場、右：大阪会場）